

むろと体験の風×アートプロジェクト

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然とアートが調和する施設整備を行い、子供と芸術作品が出会う機会を提供することを通して、子供たちの健やかな成長を支援する。

○ 実施期間

平成30年10月21日（日）

平成31年2月18（月）～平成31年2月23日（土）5泊6日

○ 参加者数

5名

○ 内容

（1）子供を対象とした芸術ワークショップの開催

平成30年10月21日（日）

「子供たちとアーティストがコレボレーション～むろとの魅力を表現してみよう～」

くろしお祭り（国立室戸青少年自然の家の施設開放事業）に参加している約100名の子供たちとアーティスト（一ノ瀬健太氏）が協力して巨大な絵を創作する。完成した作品は、平成31年3月31日まで国立室戸青少年自然の家に展示する。

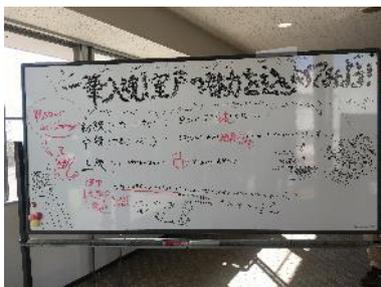
（2）自然とアートが調和する施設整備

平成30年度中の1週間程度

講師の一ノ瀬氏が学生等のメンバーを募り、国立室戸青少年自然の家の本館の壁面に作品（壁画）を創作する。完成した作品は、国立室戸青少年自然の家を訪問した子供たちが自由に鑑賞できるようにする。

2. 活動の様子や作品について

平成30年10月21日（日）





平成31年2月18日（月）～平成31年2月23日（日）

『Insta Whale』



作品コンセプト



一ノ瀬 健太

インスタグラムの”映え”スポットとして多くの方々にこの場所を訪れて欲しいと思います。タイトルの『Insta Whale』とは室戸の文化&食の資源であるクジラ (whale) とインスタ映えする壁 (wall) を掛け合わせたものです。

この壁はアートエデュケーションとしても機能します。施設を利用する子どもたちの研修プログラムとして活用可能です。それは、子どもたちに壁面を塗らせるワークショップです。どの壁に、何の色を塗るのか、グループで議論し、決定したことを実行・完成させるまでのプロセスが学びとなります。仲間と議論して決定するプロセスを通じて民主主義を学び、達成感と成功体験が味わえます。ここで学んだ子どもたちが自助の精神を培い、DIY の精神で人生を歩んでほしいと思います。

『KUKAI』



長谷川 彰宏

作品コンセプト

高知県の室戸岬にある、御厨人窟にて空海は悟りを開いたとされている。

青年だった弘法大師が開眼したその時、視えた風景が空と海であったため、空海という法名を得たとされる。

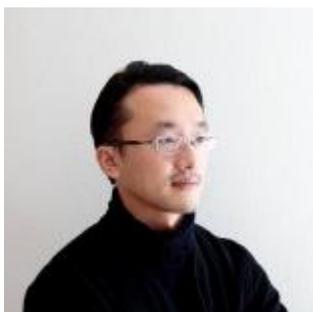
この逸話を元に、その時“見た”ものを私なりにイメージし、具体化を試みた。

そこには「動的な佇まい、静的な生命感」や「悠久と刹那」という相反する要素が矛盾無く一体と成す時、達観に至り得るのだろうか、等と、私は描きながら思う。

『クジラと共に』



作品コンセプト



山田 勇魚

中庭中央ステージ前階段を大人数でも楽しめる撮影スポットにしようと考え、巨大なクジラを描いた。室戸がクジラの町である事と、私の名前の由来がキラメッセ室戸鯨館の名誉館長でもある C.W.ニコル氏の著書「勇魚」である事からクジラをモチーフに選んだ。

一見すると何が描かれているか分かりづらいが、ステージ中央奥に立ち、全体を見渡すとマッコウクジラのシルエットが浮かび上がる。

スマートフォンのカメラを横に構えると頭の先から尻尾までちょうど収まるサイズだ。

階段の好きな位置に立ってポーズを取ることでクジラの背中に乗ったり、一緒に泳いだり中に入っているかのような写真を撮影できる。

シンプルな配色なので複数人で集まって人文字を描く事も可能だ。

『鯨死して骨残す』



沖 綾乃

作品コンセプト

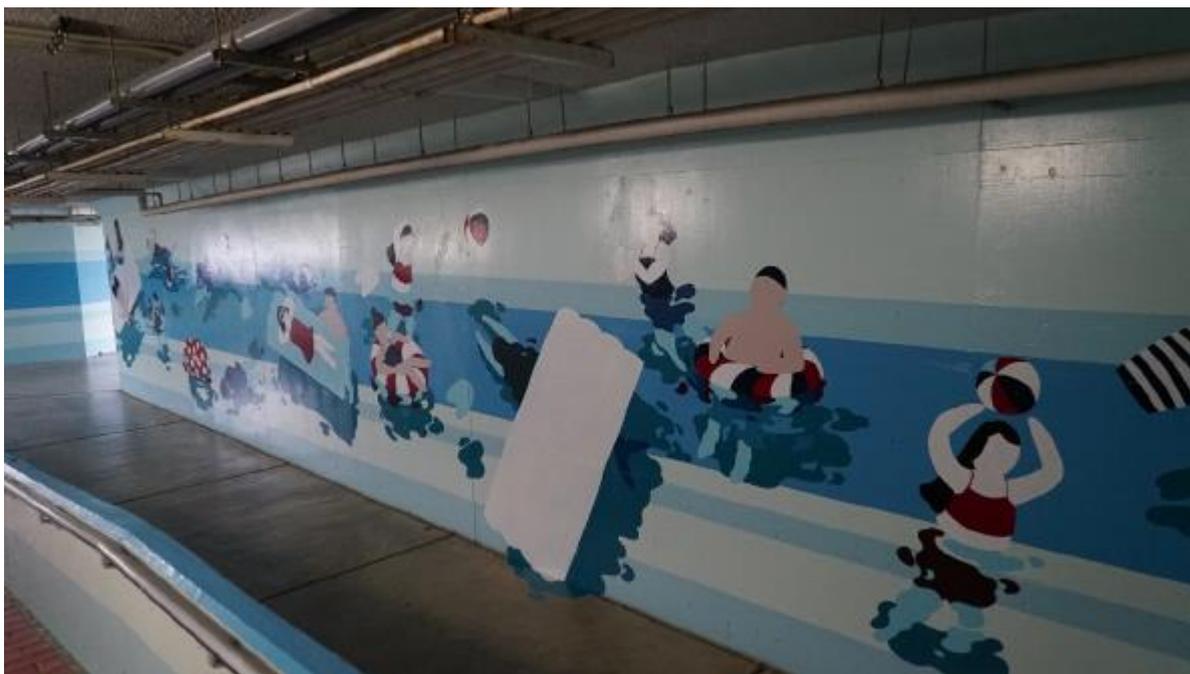
室戸と鯨にゆかりがあるということで、鯨の骨をモチーフとしています。

鯨骨生物群集という、海底に沈んだ鯨の死骸を拠り所として貝やバクテリアなどが住み着いたことで形成された生態系があると知り、絵にしたいと思いました。

それはきっと神秘的で迫力のある光景なんだろうなと思いを馳せながら描きました。施設を訪れた子どもたちに海の生態系の仕組みを学び、生まれては消えゆく悠久の営みに想いを馳せてほしいと思います。骨は海底で砂塵を舞わせながら、どこまでも深く、深く、潜って行って、気づけば、夜空の星になっている。

虎が皮を残すように、鯨は骨を残すのでしょうか。室戸の食資源であり、文化資源でもある鯨、縄文から続く鯨に対する畏怖と祈りを感じてもらえたらうれしく思います。

『FLOAT & BATH』



大島 利佳

作品コンセプト

国立室戸青少年自然の家の近くにある海から着想し、もともと水色に塗装された壁を活かし、海に見立てました。

老若男女問わず楽しめるように、元気良く海水浴をする人をポップなイラストをイメージし描き上げました。水上と水中、それぞれで見え方が変わっているので、壁の水色が水に見えます。

また、白い浮き輪ベッドの前に立つと、イラストの人たちと一緒に海水浴を楽しんでいるように見えるので、写真を撮るのにおすすめです！実は人魚もいるので探してみてください！

3. 事業の成果と課題

○ 事業の成果

- ・アート作品の作成においては、地元高知県立室戸高等学校の生徒3名に塗装のお手伝いをいただいた。今後も地元高校との連携をさらに強化し、ボランティアの育成につなげていきたい。
- ・地元室戸市にとって芸術作品に接する機会が増えることによって、子供たちの健やかな成長を支援する機運を高めることができた。

○ 事業の課題

- ・標高300mという立地条件により、雨天時には湿気により作品作りが不可能になる。実施期間や時期について検討が必要である。